

2022年度

さいたま市民テニス大会

春季ダブルス

期 日 5月 1日（日）
 3日（火）
 4日（水）
 5日（木）
 7日（土） 予備日含む
 8日（日） 予備日
 15日（日） 予備日
 21日（土） 予備日

会 場 天沼テニス公園
 岩槻文化公園
 堀崎公園
 浦和総合運動場（元町）
 荒川総合運動公園（南・北）
 西遊馬運動公園



大会役員

大会会長	関 久治
大会副会長	江連光洋
ディレクター	小林一幸
レフェリー	高橋秀幸
アシスタント	富永純子・清水宏明・小川良子・大立目敬子・藤田都子・桑川裕子
レフェリー及び運営	琴野真樹子・広井敏克・猪塚育代・茂木慶喜・小島宏明 田中佐智子・寺西美紀子・斎藤信雄・前田雅代・登根新・大川邦夫 大竹直子・田中幸・高橋幸二・木村曜子・河村直美・樋口経太・西尾直 武本幾子・久津清二・高橋一路・会沢昌代・角田幸子・切替進・相吉薫 川島善行・梶谷千恵子・木月真佐江・杉本純子・渋井敬子・大川みどり

試合規則

- 1.時間厳守 指定時間に遅れた場合は棄権とする。(プレーができる服装で出席を届けること)
- 2.服装 テニスウェア・テニスシューズを着用
- 3.試合方法
 - ・一般AT・ベテランは、トーナメント方式(3名の場合リーグ戦)
 - ・一般A・B・Cはブロック別トーナメント
 - ・1セットマッチ 6ゲームオール7Pタイプブレークゲーム方式
 - ・ねんりんピック予選会については別紙参照
 - ・Enjoyクラスについては、試合当日、会場で発表
- 4.審判方法 セルフジャッジ(勝者が、記入したスコアカードとボールを本部へ届ける)
- 5.使用球 ダンロップ フォート イエロー
- 6.ウォームアップ サービス4本
- 7.連続的プレー
 - ①トスはウォームアップ前に行い、アップ終了後直ちに試合を開始。
 - ②ポイント間は20秒まで、エンド交代は60秒まで。
 - ③第1ゲーム終了後は休憩無しでエンド交代。
- 8.その他の規則は原則として日本テニス協会規則に準じます。不明、必要なことがあれば本部、又はレフェリーへ連絡してください。
- 9.20周年記念誌作成の為、撮影カメラマンがコート内に入る場合がありますのでご了承ください。

その他

1. 2022年度埼玉県秋季大会推薦枠 : 男子14組・女子10組
2. さいたま市選手権出場資格 : AT:ベスト16、A:ブロックファイナリスト
: ベテランベスト8
年間優秀選手決定トーナメント出場資格 : B、Cブロック優勝者
3. クラスアップ : B、Cブロック優勝者
4. 表彰対象(表彰式に参加してください)

一般		ベテラン			Enjoy
男女AT	男女ABC	男子45~70 女子45、50、55	男子75	女子60	男女
1、2、3、3位	1位	1、2、3、3位	1、2位	1位	有り

【問合せ先】 大会担当 富永 純子 TEL 080-6527-0768 (PM19:00~21:00)

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して大会を実施します。別紙「さいたま市テニス協会におけるテニス大会開催の新スタイル」をご覧ください、感染防止に努めてください。

大会注意事項

1. 参加選手は、定刻までに大会本部に出席を届けてください。雨天等により試合実施が不明の場合も、定刻までに会場へ来てレフェリーの指示を受けてください。
2. 各管理事務所に大会に関する問い合わせは禁止します。
3. 不慮の事故、障害について当協会は一切責任を負いません。万全の体調で試合にお臨み下さい。(参加者全員傷害保険に加入済み。必要になった方は大会本部に)
4. 場内放送の聞こえる場所で待機して下さい。(除く堀崎)
5. ビデオ撮影は、相手選手の許可を得てコートの外からのみです。
6. 全ての会場でテニスの練習は禁止です。
7. 喫煙は指定された場所をお願いします。
8. ゴミは全て各自お持ち帰り下さい。
9. **新型コロナウイルス感染防止に配慮して試合をお願いします。**
 - ・試合開始前の挨拶、トスはネットから1m以上離れて行い、試合終了後の握手は行わずお辞儀だけにしましょう。
 - ・ベンチ使用の際は、離れて座るように。
 - ・試合終了後は、速やかにご帰宅いただくようお願いいたします。

試合会場における新型コロナウイルス感染防止対策

- 1 次の事項に該当する選手は、自主的に参加を見合わせてください。
 - (1) 体調がよくない場合
 - ① 37.5度以上の発熱があるとき、又は平熱比1度超過(試合当日の朝、自分で検温のこと。)
 - ② 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさや軽度であっても咳や咽頭痛などの症状があるとき
 - (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるとき
 - (3) 過去14日以内に、感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴があるとき※さいたま市から参加者の「2週間以内の風邪・発熱症状、2週間以内の海外渡航歴」を提出の要請がありましたので、受付時にお聞きします。
- 2 受付時、会話する時は**マスクを着用**。試合中や密でない場合は着用しなくてもかまいません。試合中のフェイスマスク使用可。
- 3 **手指消毒・検温(37.5度以上参加不可)・健康チェック**を行います。
- 4 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
- 5 他の参加者、主催者スタッフ等との距離約2m(最低1m)を確保してください。
- 6 ベンチを使用する際も、選手同士が密とならないように気を付けてください。
- 7 大きな声で会話、応援等は控えてください。
- 8 選手以外の方は来場の自粛をお願いします。
- 9 自分の試合が終了した選手は、速やかに会場から退場してください。
- 10 感染拡大防止のために主催者が定めた事項を遵守すること。これを順守できない参加者には、参加の取り消しや途中退場を求めることがあります。

会場別注意事項

天沼テニス公園（砂入り人工芝）

1. 大会本部（受付）は管理事務所棟に設置します。
2. 駐車場は駐車台数に限りがあります。防災センター駐車場は協会駐車カードが無いと駐車できません。1日の試合数が多いため、試合の済んだ方は次に来る選手の為に、駐車場を空けてください。
3. 手指消毒・健康チェックは、公園事務所脇で行います。

岩槻文化公園（砂入り人工芝）

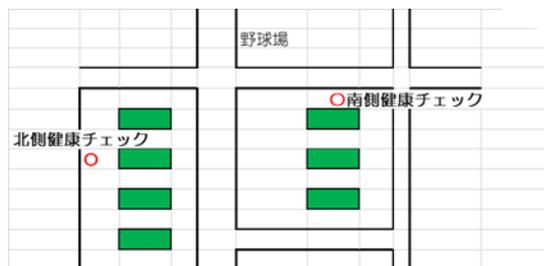
1. 大会本部（受付）は壁打コート前に設置します。
2. 駐車場は8：30から使用可能です。
3. 当日出場選手の壁打コート使用禁止です。
4. 手指消毒・健康チェックは大会本部近くで行います。

堀崎公園（砂入り人工芝）

1. 大会本部(受付)は公園管理事務所棟 左脇に設置します。
2. 駐車場は正門入口左側と第2駐車場、駐車台数に制限有り、役員にお声を掛けて下さい。
3. 試合待機中は芝生内をお願いします。
コート沿い通路は、ウォーキング、ジョギングの妨げになりますので立ち止まらないように！
4. マイク使用禁止の為、オーダーオブプレー方式を採用します。(分からない点は本部まで)
 - ①大会本部脇の白板に各コートの現在の試合と次の試合を表示します。
 - ②自分の名前が表示され試合コートの確認が出来たら、大会本部に届け出てボールを受け取り試合コート近くで待機。
 - ③待機選手は試合終了を確認し、速やかにコートに入り、サービス練習後、試合を開始します。
5. 手指消毒・健康チェックは大会本部近くで行います。

浦和総合運動場(元町南・北コート 砂入り人工芝)

1. 駐車場は隣接する野球場と共通で、テニス専用は非常に少ないです。車での来場を控え、公共の交通機関等を利用して下さい。
2. 9：00受付の選手は、次の事項に御協力をお願いします。
 - (1) 近隣住民に配慮し、8：45の開門までは、北側コート付近に立ち寄りしないでください。
 - (2) 9：00受付の選手は、全員南側コートで「手指消毒・健康チェック」と「受付」を済ませ、北側コートの選手は、その後、移動します。
3. 10：00以降受付の選手は、南北それぞれのコートで「手指消毒・健康チェック」「受付」を行います。



荒川総合運動公園（南・北コート クレーコート）

1. 開門時間の関係で受付締め切り時間は、8：50→9：00になりました。
早くから通路に並ばないようにお願いします。
2. 大会本部（受付）は南側が9番コート前、北側は5番コート前に設置します。
3. 河川敷クレーコートの為、台風、長雨での冠水や前日の雨等で使用出来ないことがあります。
4. 公園管理者が当日のコート状態、天候を考慮し、「使用可能か」を判断する場合があります。
5. 試合実施が不明の場合は公園管理事務所前に大会開催情報を掲示しますので、確認してください。
6. 手指消毒・健康チェックは大会本部近くで行います。

西遊馬総合運動公園（ハードコート）

1. 大会本部（受付）は1番コート前に設置します。
2. 公園駐車場は、第1駐車場（土手を降りて右側、約100台）、第2駐車場（テニスコート脇、約40台）、第3駐車場（テニスコートから南側に約100m、約20台）があります。
コート前道路は駐車禁止です。ライオンズ、大宮リトルシニアと表示してある駐車場には止めないでください。
3. 手指消毒・健康チェックは1番コート前の大会本部近くで行います。



西遊馬総合運動公園



ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ

テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない！

保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。